

【平成17年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	デュアルシステム活用型即戦力モバイルコンテンツ開発技術者育成、専門学校高度化教育プログラム開発		
学校法人名	社団法人 沖縄県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 名城 政次郎	担当者・連絡先	新井 由夫 098-832-5166 info@okisenkaku.or.jp
<p><事業の概要></p> <p>急速な市場の拡大と技術革新による深刻な人材不足に直面しているモバイルコンテンツ業界のニーズに対応する、日本版デュアルシステムを活用した最新技術と企画・管理能力を有する即戦力技術者の育成カリキュラム及び教材を開発し、3-4年課程の専門学校高度化教育プログラムを開発した。また、教員養成セミナーを実施し、教員のレベルアップを図り、県内専門学校の高度化実現を推進した。本事業における研究開発内容としては、下記の4つに分類できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニーズ調査 モバイルコンテンツ関連サービス提供企業約150社にアンケート及び数社にヒアリングを実施し、モバイルコンテンツ業界の就業人口推移などの業界動向やモバイルコンテンツ企業の人材ニーズ、求人需要や人材育成について調査し、モバイルコンテンツ業界の人材育成の方向性を示した。 2. モバイルコンテンツクリエイター育成カリキュラムの開発 日本版デュアルシステムを活用し、総時間数の1/2をモバイルコンテンツ企業における実習で、現行の専門学校2年課程で不十分な先端技術などの不足部分を補い、モバイルコンテンツ企業への即戦力となる高度専門技術者（モバイルコンテンツクリエイター）の専門学校3-4年課程における育成カリキュラムの開発を行った。 とりわけ、3年次にはモバイルに特化した技術知識とコンテンツ設計のためのマーケティング及びプロジェクト企画・管理能力の養成、4年次では業界最先端レベルを目指すための、モバイルコンテンツ関連サービス開発企業・団体で実際の業務に携わることができる即戦力となる「技術・企画・管理」能力を有するモバイルコンテンツクリエイターを育成するカリキュラム及びシラバスの開発を行った。 3. 教材の開発 現状では、モバイルコンテンツクリエイター向けの標準的なテキストが見当たらず高度専門技術者を育成するために、最新かつ最高レベルの技術を習得するためのテキスト、また、本事業で開発されたカリキュラムに準拠した『モバイルコンテンツクリエイターテキスト（モバイルマスター）』を産学の専門家と共同での開発を行った。 4. 教員養成セミナーの実施 教員養成セミナーでは、モバイル知識、モバイル独自のコンテンツ情報の収集、クリエイター知識、検定対策を学習することで、モバイルクリエイター教員のレベルアップを図り、教員としての一定の水準を確保して県内専門学校の高度化実現を推進する教員養成を目的とし、モバイルクリエイター育成のための基礎段階である「モバイルマスター養成」セミナーとして開催した。また、モバイル検定（モバイルマスター2級）の資格取得並びにセミナー参加を条件に「モバイルマスター講師」として認定することを目的とした教員養成セミナーを1月～2月で3回実施した。 また、教員養成の一環として、モバイルコンテンツ企業の現場視察を10月に実施した。 			

<成 果>

1. ニーズ調査

全国のモバイルコンテンツ企業150社へのアンケート調査及びヒアリング調査を実施することにより、企業における人材育成の状況、求められる人材、モバイルコンテンツビジネス産業の市場概況、市場規模などについて把握し、モバイルコンテンツクリエイター育成のための教育プログラムの開発に十分に活用することができた。また、このような新しいモバイルコンテンツ業界に対する調査事例は少なく、貴重な資料となるであろう。

※「ニーズ調査」の内容については、事業報告書をご覧ください。

2. モバイルコンテンツクリエイター育成カリキュラムの開発

先に行われた「モバイルコンテンツ業界ニーズ調査」の結果を基に、企業ニーズに合った人材の育成をする教育プログラムを開発した。急速に進化する技術革新の中で最新技術をいかに習得するかについては、日本版デュアルシステムを活用する。また、企業の人材ニーズで需要の多い、企画力・管理能力などについても一貫したカリキュラムの中で即戦力を養うことが出来るプログラムを開発した。

カリキュラム及びシラバスの作成にあたっては、専門学校関係者のみならず、大学の専門家、モバイルコンテンツ企業、モバイル検定協会などと共同で開発を行ったのでより即戦力を育成する教育プログラムが出来上がった。また、今回開発したモバイルクリエイター養成プログラムは、専門学校の3-4年生課程を前提に開発しているが、ユニット選択制のカリキュラム構成に出来上がっているため、専門学校3-4年課程のみならず、大学や短期職業訓練講座などに対応することができる。

※モバイルクリエイター養成のためのカリキュラム及びシラバスについては、事業報告書をご覧ください。

3. 教材の開発

開発された教材は、ニーズ調査の結果をふまえて開発されたカリキュラムに準拠したものである。

モバイルクリエイターは、大きく変化し成長する市場であり、常にサービスを利用する側の立場、業界の動向を把握してコンテンツを設計・制作する必要がある。高度なモバイルクリエイターを育成するためには、プログラムの書き方やフォーマットに従ったコンテンツの作成方法など「ツールを使いこなすため」のノウハウの記述された教材だけでなく、モバイルコンテンツを利用するユーザ動向や通信サービスやコンテンツを提供するための周辺技術、ユーザビリティを意識させるための学習は不可欠である。これらの体系立てられたカリキュラムを利用するために既存のテキストを補完するモバイル基礎標準テキストとして本教材を開発した。

また、モバイルは、通信システム、技術において世界的に高いテクノロジーが集結した分野であり、成長も激しく、多くの技術・提供手法などの名称も一般に定着する間にも次々と生み出されている。さらに、その用語は複数の名称が存在し固定化（統一）までは時間がかかる。こういった面から表記の統一は困難を極めた。そこで、本教材を開発するにあたっては本事業により結成された業界の有識者として、モバイル検定協会・通信事業者・コンテンツプロバイダ・モバイル系マスコミ・トップクリエイターによる編さん・審議が行なわれた。本教材がモバイル関連の用語の標準化としての役割を持つものとして、期待される。

4. 教員養成セミナー

教員養成セミナーについては、下記日程で実施した。

●日程（全3日間）

- | | | |
|----------|-------------|--------------|
| 1月27日（金） | 10:00～17:00 | モバイルマスター論Ⅰ |
| 2月 2日（木） | 10:00～17:00 | モバイルマスター論Ⅱ |
| 2月10日（金） | 10:00～16:00 | モバイルデザイン論 |
| | 16:00～17:00 | モバイルマスター検定2級 |

今回のセミナーは、本事業で開発されたプログラムを導入する予定の学校を中心に3日間で延べ54名の教職員の方が受講されました。

●企業視察については、

平成17年10月14日（金）

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 10:00～11:30 | 株式会社ライブドア（港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー） |
| | ライブドア 執行役員副社長兼モバイル事業本部長 出沢剛氏 |
| 11:30～13:00 | 六本木ヒルズ内にて各自昼食 |
| 13:30～14:45 | 株式会社ゆめみ（港区赤坂2-3-4ランディック赤坂ビル4F） |
| | 株式会社ゆめみ 代表取締役社長 深田浩嗣氏 |
| 15:00～16:00 | 株式会社NTTドコモ（千代田区永田町2-11-1山王パークタワー） |
| | 同社法人営業ショールームを見学 |

沖縄から9名が参加し、モバイルポータルサイト大手、モバイルコンテンツ開発企業、通信事業者大手の企業現場を視察し、現場での声が直接聞け、今後のモバイルクリエイター育成の方向性について大変役立った。